



身近な自然の観察・記録活動 石神井川緑道版

2023.5.11

一人ひとりの自主活動 だれでも参加できます

活動：月2回(第二木曜日・第四金曜日) (雨天は小雨でも中止)
コース：帝京大学付属病院北詰・御成橋たもと → 金沢橋
問合せ・連絡先：090-8646-9757 木村松夫 com-matchan@hotmail.co.jp

2023年7月までの石神井川観察は、5/26(金)、6/8(木)、6/23(金)、7/13(木)、7/28(金)
9:30JR 社宅前街路の観察 10:00 帝京大学病院北側の御成橋たもとから再出発

まだ5月中旬なのに季節交替の動き ハルジオン(花) とヒメジョオン(蕾)



←ハルジオンは今でこそ「生態系被害防止外来種リスト」に載っている嫌われ者の「雑草」の代表のようなものですが、もともとは大正時代に観賞用として輸入された種。だから、この花をちゃんと見てあげれば、それなりにきれいなものです。命名は、NHKの朝ドラ『らんまん』の主人公・牧野富太郎さん。この種よりも一足早く明治時代に渡来したヒメジョオンと

似ていて、開花期が少し早いので「春」を頭に付けて命名したのだと思われます。確かに、昔は春に咲くのがハルジオンで、夏の暑い季節になるとヒメジョオンが入れ替わるように咲いてきていたのですが、最近では交代時期が明確ではなくなってきています。右の写真で花が咲いているのはハルジオンですが、その左にはヒメジョオンがもう蕾を付けています。この調子でいくと同時開花が見られそう。



枯花もまた美なり



2週間前には華々しく咲いていた花も、もう夏の花と交替です。上の写真左からアメリカフウロの実、コデマリも花枯れ、ノイバラは実を付け始めました。最盛期とはまた異なった風情があるものです。

やっぱり春です！ 色とりどりの草原（くさはら）



←足元を見れば、地面にびっしりとコメツブツメクサとシロツメクサが広がり、その間からアカバナユウゲショウが彩を添えています。



別の場所ではアカツメクサが満開でした→



←チガヤ JR社宅の前庭で群生していました。珍しい植物ではないのですが、小穂から葯が飛び出して花粉を散らしているのを観察できたのはグッドタイミングでした。



こちらはもう秋 ヨモギは秋姿に変身し花が咲いていました。異様な赤色↑